



大和中ロータリークラブ会報

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために
1980-81 R.I 会長 ロルフ・J. クラリッヒ

第 136 回 例会 56 年 3 月 12 日 (木) 晴 第 142 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
38名	35名	92.11%	100%
欠席者 二見, 古木, 高橋			

亀谷会長テーマ 全人類に愛と善意を

司会 SAA 北砂 富三君

ソングリーダー 中西 功君「それでこそロータリー」

ゲスト

陳恵麟氏, 蔡天錫氏 (中国留学生)

ビジター

高寿昌良君 (横浜田園), 田島光治君 (藤沢),
松本公一君 (藤沢北), 名屋大二君 (綾瀬), 渋谷利雄君 (相模原南), 野島幸雄君 (座間), 花岡正君, 山本杜兵衛君, 野口栄三郎君, 柴田信一君 (大和)

会長報告

1. 中国留学生の送別会には国際奉仕委員長の上田先生の御尽力で「八代亜紀コンサート」を見てその後、非常に楽しい夕食会でした。留学生の皆さんと我々が最後の友好を温められたことは大変よかったですと思います。

2. 地区ガバナーより 1982~3 年度ガバナーノミニー候補者に関する書状が参りましたので読み上げます。

各クラブ会長幹事宛 加藤ガバナーより

「此の度地区指名委員会において、R I 細則・

第13条第5節に基づき 1982~3 年度ガバナーノミニー候補者として指名委員会は加藤宗兵衛君 (伊勢原 RC) を指名致しました。各指名委員はあらゆる情報、意見をとり集め、地区内の諸状勢等を考慮し、慎重に審議の結果、同氏を最も適当とし、指名することに決定しました。」と
言うことでございます。

3. 地区ガバナーより「次年度クラブ会長、副会長、幹事研修会開催」のお知らせが参りましたので
ご報告致します。

幹事報告

1. 次週の例会は予定を変更して、3月21日(土)の I.G.F を前にしての「職業奉仕について」のクラブフォーラムを開催致します。

2. 本日、定例の理事役員会の開催日ですので、理事役員の方は例会後お残り下さい。

本日のプログラム 3月19日
クラブフォーラム「職業奉仕について」

次週予定 3月26日
箱根湯本「水明荘」にてクラブ協議会

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和市中心 1-5-40
及び 大和市中工芸館内
例会場 電話 0462 (63) 7926

例会日 : 毎週木曜日 12時30分より
例会長 : 亀谷 志郎 副会長 : 伊藤 正男
幹事 : 富沢 重徳 会報委員 : 有沢・長谷川・藤田

3.3月21日のI.G.Fは全員登録でございますので、まだ会費3,000円をお納めになっていない方は事務局まで今日中にお納め下さい。尚本日I.G.Fのプログラムをお手元におくばりしてありますので、当日は会場にはございませんので、御出席の方は忘れずにこれをお持ち下さい。当日他の資料は配布されないそうですので忘れずご持参下さい。12時より登録でございますので、皆さん御食事をしてからおいで下さるようお願い致します。

委員会報告

北砂SAAよりのお祝い!

厚木基地で、来る4月29日にチャリティゴルフが催されます。当クラブには限られた枚数しかございませんので、若し御出席の方が大勢おられましたら抽選させていただきますと思いますので帰りに私の方にお申し出下さい。

会費 15,000円です。

親睦活動委員会 鈴木委員長

1.お祝の方々をご紹介します。

お誕生日	竹本健一君	(3月17日)
	伊藤英夫君	(3月18日)
御夫人お誕生日	細野順造君トシ子夫人	(3月14日)
結婚記念日	細野順三君	(3月14日)
創業記念日	山中忠誠君	(3月3日)
	芦田敬治君	(3月15日)

以上です。おめでとうございます。

2.石渡英二郎君は2月6日還歴のお祝でございました。遅れましたがお祝を差し上げたいと思います。赤いチャンチャンコと思ったのですが、昔から足から弱くなるとのことで、赤い靴下を差し上げます。大和中をかけずりまわって下さい。いつまでも元気です!

卓話

中国留学生帰国の挨拶

土屋会員の御紹介 本日中国留学生の帰国の挨拶と言うことですが、ビジターの方もおられますので、事の経過をお話させていただきます。

1978年に日本と中国の平和友好条約が出来て、その批准書交換のため、鄧小平副首席が来日し、そのとき当時の福田内閣との間で留学生交換の話が出て、日本で500名を受入れるという話があり、翌年1979年4月約70名の留学生が第一陣として来日しました。文部省、政府側は各大学の斡旋はしましたが、宿舎の方までは何も出来ませんでした。その時たまたま私の会社の社員寮が空いており、それではと言うことで4月より9名の方をおあずかり致したわけです。留学生と申しまして一番若い方でも当時34才、一番お年寄りの方は46才ということで留学生と言うよりは研修生と申した方が適当かもしれませんが、その中の8名は東京工大、この中5名は長津田の東工大の研究所に通っております。3名は大岡山の本校まで相鉄と東横線を利用して通っております。2年間の予定も、早いものでこの4月には帰国することになりました。この間大和中RCの皆様を始めとして、大和RC、或は地域の方々に大変お世話になりました。この二年間には色々なことがありましたが、本日見えて居ります。陳恵麟君は来て早々に病気のため大和市立病院に入院したようなこともありましたが、しかし彼等は朝から夜遅くまで、非常に熱心に日本の最新の技術を学び、まだ居残りたいというしる髪をひかれる思いですが、3月26日には、陳恵麟さんが帰国されます。4月9日には3名の方が、或いはまだ実験の都合で4~5月まで仕事を完了されてから帰国されます方もいます。

そこで本日は中国留学生が2年間の滞在で得た日本観と申しますか、色々な思い出もあって短い時間ではお話するのはむづかしいと思いますが、特に印象の深かったことについてお話を伺うことをお願いして参りました。尚この続き留学生の送別

会を15日に私共の会社の構内で行いますので、是非ご参加下さるようお願い致します。当日は中国留学生の御礼と言う意味もあり、留学生が腕によりをかけて、北京ダックをごちそうすることなので是非お越し頂きたいと思います。

それではお二人を御紹介致します。

最初、陳惠麟さんを御紹介致します。中国科学院の大連科学物理研究所から日本に派遣され、東京工大の資源科学研究所で化学工学、とくに、触媒の研究をして居られます。

蔡天錫さんは、大連工学院から派遣され、東京工大の資源科学研究所で固型の触媒の研究をされて居ります。彼等が日本へ来たときは殆んど日本語が出来ませんでした。2年間でこれだけ話せるという見本のようなものです。宜しくお願致します。

陳惠麟さん……皆さん今日は。私は中国科学院大連科学院から派遣されて来ました。大連の科学研究所は、前の満鉄の中央試験所で80年以上の歴史があります。最初ロシア人が鉄道を作ったとき、研究所を作り、その後満鉄の試験所となり、新中国が出来てから中国科学院のメンバーとして1945年から研究所となっています。この研究所は中国の触媒センターと呼ばれています。最初は、石油化学研究所と呼ばれていましたが、その後、科学物理研究所に変わりました。私は一昨年春、桜の満開の頃、日本に着きました。もう2年の月日は矢のごとくあっという間に過ぎました。この2年間の間、皆さんからいろいろ御親切を頂き、ご指導、ご鞭撻に心より感謝致します。過ぎ去った2年間のことを考えると胸が熱くなります。

私はこの大和に来て皆さんと仲よく付き合いが出来たこと本当によかったと思います。9人の中でも私は一番めぐまれていました。私は日本に着いてからすぐに急性肝炎で大和市立病院に入院しました。日本に来た留学生の中で重い病気に患った人は5～6人いたと思いますが、日本に残って勉強出来たのは私だけだと思います。国に帰ってまだ病気が治らない人も居ります。入院は、ベットが無いのに土屋さん、又大和市長さんのお陰ですぐ

入院が出来、又入院中は皆様の御見舞をもして頂き、病気は気持のせいで、早い時期に直りました。それから今まで勉強を続けることが出来ました。これは一生忘れられないことです。私の勉強は触媒の研究で、山本研究室です。山本教授はアメリカ及びドイツで研究をされ、偶然に新しい触媒を発見しました。その触媒のことを少し説明をしますと、まだ工業的には利用出来ませんが、空気中の窒素は高い圧力と高い温度でなければ化学肥料として出来ませんので、エネルギーとしては得はありません。ですから普通の状態で、窒素を固定出来る、例えば植物、大豆などで普通の圧力で窒素を固定出来る方法が研究されており、まだ完成されていませんが、この面で日本の研究は世界レベルです。

この研究所で感じたことは、よく外国のものを、吸収して、もう一つは研究生が朝から夜まで一生懸命勉強し、教授は更に学生の講義をし、毎日ディスカッション等々、中国の教授と比べるととても忙しいと思います。中国の場合は、教授は自分の研究だけですが、日本の教授は研究、大学院生の授業、大学院生の入学のこと、又就職の心配まで、考えられない程忙しく、しかもうまくやっています。この点中国の学者は学ばなければならぬことだと思います。もう一つ教授と学生間の関係はとても仲よく、一緒に食事をするとか、野球をするとか、いつも一緒ですが、中国の教授は年寄りが多く、普通の人は仲々会えません。又日本の学者は若く、60才で停年になりますが、中国では70～80才までも教授で、50才になっても助教授にはなれません。ですから成長は遅いのだと思います。今私の研究室の助教授は34才です。助教授になってから若いので一生懸命勉強をし、レベルは高いのです。中国の研究室の主任は、廓沫若氏の息子さんで（昨年土屋さんにも見えました）もう67才です。この意味では日本の制度は良いと思います。他の日本の大学のことはよく訳りませんが、東工大の学生は本当に勉強をします。朝から夜まで実によく勉強努力します。しかも今日の仕事は今日終るよう少しせっかちですがよくやり

ます。一方中国はゆっくりしています。時間も6時には終わります。これは文革の悪い影響です。帰ってこの話をしても私の周囲の人々は信じられないことだと思います。東工大の学生のこの精神はとてよいと思います。帰ってから、4つの近代化を実現するためにこのことは重要なことだと思います。又日本の学生の先輩と後輩の関係は封建的だと思っていましたが、色々なことは先輩から教わりこの関係は学ぶべきことだと思います。お話ししたいことはまだありますが、時間ですのでこれだけにします。皆様のご健康と、ご活躍をお祈りして止みません。

蔡天錫さん……もうすぐ帰国の日をひかえ、ロータリークラブの皆さんにまねかれ、日本で2年間の感想を述べさせて頂き大変光栄に存じます。日本での2年間は私にとって、本当に楽しかったと思います。日本の国は本当に立派な国だと思います。日本に来て色々な方とお付き合いして日本人も立派な人間であることを心からわかりました。2年で帰らなければなりません、日本が本当に好きになりました。感想を申し上げることはむづかしいことですが、いろいろ考え、陳さんが大学のことを話されましたので私は、生活面での感想を話させていただきます。日本に来てから、出張で九州、大阪、京都、奈良、仙台にも行きました。去年の夏には富士山の頂上までも登りました。日本の多くの友人と付き合い、日本国と日本人についてははっきりわかりませんが、感想だけお話しします。一番お話をしたいことは、日本人と酒ということです。日本に来て驚きましたが、想像以上にお酒が好きだと思います。日本人はお酒を飲むのに、飲み始めると酔っぱらうつもりで飲んでいるのではないかと思います。中国人も酒は好きですが、静かに飲んでいるようです。日本人は飲んで酔っぱらわなければ終らない。二次会、時には三次会までもあり、このことが印象深いことです。カラオケで歌をうたい、酒を飲むことは楽しいことですが、矢張り演歌の悲しみまでも、ムードをつくり、そのムードで飲み、悲しみと、楽しみを一緒にバランスをとって飲むのが非常に面白いと

思います。演歌は、別れ、涙、港とか、私も演歌が好きになりましたが、日本人は感情的に悲しさを楽しんでいるのではないかと思います。酒は昔中国の大学者の孔子は「酒無量、不及乱」酒を飲んでも乱れない。これが普通の飲み方と言っています。けれども酒がいいのか？悪いのか？何の役にも立たないと言うことはありません。得にもなり、或る時は薬にもなります。日本人の酒の飲み方を見ていると、付き合いで酒を飲んで非常に面白い話になり、酒を飲んでストレスをとる！日本人は一生懸命に働いて酒を飲んでストレスをとって元気一杯に働き、そう言う意味では酒はいいと思います。

第二番に日本の家庭における男と女ということをお話したいと思います。夜研究所の帰りにつき見野の駅を出ると、駅前に車で迎えに来ている奥さんが、主人が出て来ると走って行きカバンを持って車で家に帰るのをよく見ます。日本の奥さんはとても優しく、親切だと思います。私は日本人の女性とは付き合いの機会はありませんでしたが、日本女性の優しさはよい事だと思います。けれども家庭でも中国人から見ると気に入らないこともあります。亭主関白というのは、関白宣言という歌もあるくらいもう無くなったような感じもあるが、矢張り昔の習慣が残っているのではないかと思います。日本の家庭を見ますと、優しい家庭の主婦としてやっていますが、社会的活躍がちょっと少ないと思います。日本では亭主が台所に入るのは、はずかしい事だと思っている人もあるようですが、中国では共稼ぎですから男が台所に入るのは当然のことです。それが日本と違うところです。中国では反対に奥さんが仕事もせず台所に入っているのは、はずかしいことになっています。一昨年夏キャンプに行き、日本の学生、女性6人男性6人との座談会で、女性が大学を卒業して結婚したら仕事をやめる、これは日本の社会にとって損になるのではないかと質問を出したところ、6人の女性の中2人は結婚しても仕事を続ける、4人は家庭に入って仕事をやめると言い、男性は5人は結婚したら家庭に入り自

分のめんどうを見るのがよいと、1人は仕事を続けてもよいと言う意見でした。私は全体社会的にみると、婦人の役割りを日本では無視しているのではないかと思います。アメリカ、ヨーロッパでも女性の就職率は高いのですが、日本では少く、女性の果すべき社会的役割りをたかめて、日本の発展のため女性の頭をもっと使うのが日本にとっていいのではないかと思います。

以上二つの感想を述べました。今日はこうして、お話が出来たことを非常に嬉しく思います。

2年間大変お世話になり感謝の意を表します。有難うございました。

第132回例会の卓話「漢詩の解説」から

張先生の朗読がありました次の三編の詩の解説をご紹介します。

送友人

青山横北郭 白水遶东城
此地一為別 孤蓬萬里征
浮雲遊子意 落日故人情
揮手自茲去 蕭蕭班馬鳴

青々と茂っている山が、外城の北方に連なっており、清らかな川が、内城の東側をとりまいて流れている。この（ような山川秀麗の）地に、君は別れを告げて、これから一本のよもぎが、風にひるがえるように、遠い道を旅立ってゆかれる。仰げば空には雲がただよっているが、今の君の心境を象徴しているかのように、また落ちかかっている夕日は、（明日は再び東の空から上るように）今別れても再会を期待する私の友情を象徴しているかのよう。（さていよいよお別れだが）手を打ち振って別れを惜しみながら、これから行ってしまおうとすると、君の乗る馬までが別離を悲しむかのごとく声高いなっている。

静夜思

牀前看月光 疑是地上霜
舉頭望山月 低頭思故郷
ベットのの前まで射し込んでいる月光を見て、

（思わず窓辺まで歩みより、庭を眺めると）おや地上一面にもう霜が下りたのか、と思われるほど（月光に白く輝いている）、（そこでその正体はと）頭をあげて山の端にかかっている月を眺め、（こよい、やはりこの月を眺めているであろう）故郷の人々の上に思いをはせ、いつか頭をたれて望郷の念にかられている自分である。

山中對酌

兩人對酌山花開 一杯一杯復一杯
我醉欲眠君且去 明朝有意抱琴來

（山荘で気のおけない友人とさしつ、さされつ飲んだときの詩）

兩人が互に酒をくみかわす山荘の庭さきには花が咲き。一杯、一杯、また一杯、我酔うて、眠らんと欲す。君ひとつ今日はこのくらいにして帰ってくれたまえ。明朝もっと酌みかわしたいおぼしめしがあるなら、話はもうあきた、琴でも抱えて来たまえ。（中国名詩鑑賞辞典より）

「たべるもの」（その2）

前回は材料の持ち味を生かしたもので、寒い時には身も心も暖まるし、値段も手頃で作り方も簡単な上に栄養価も高い、よいこと一杯の湯豆腐について書きましたが、皆さんいかがでした。やってみていただけたでしょうか。自分で作ってみると以外と手軽に出来ます。

今日は食べるのではなく、「のむ」話、のむ方の話といっても例会が終わったら一寸一杯やろうじゃないかという事ではありません。自分ののむ水割やカクテル用の酒を造ってみようじゃないかという事、材料はユズが5個、レモンが5個、砂糖が200g、そして35度の焼酎1.8ℓ（1升）と、これらを入れる容器、これで準備完了。

作り方は、まずユズの皮をむいて大きく刻みます。実はほぐして刻んだ皮と一緒に入れます。レモンは皮をむいて、実を輪切りにして入れる。次で砂糖、焼酎の順に入れる。そして1カ月後に原料を取り上げます。この時ユズとレモンはよくしぼります。こうして出来上がった酒はビタミンの多い薬用酒ともいわれますが、どちらかといえば水割りや、カクテル用。一度お試しを。（長谷川）

スマイルボックス

横浜田園RC 高寿会員 お世話になります。
相模原南RC 渋谷会員 お世話になります。
綾瀬RC 名屋会員 お世話になりますよろしく。
座間RC 野島会員 本日は皆様とおあいし嬉しく存じます。IGFも近づき何かとお忙しい事と存じますがよろしくお願ひします。
大和RC 柴田会員 時々お世話になります。
大和RC 花岡会員 本日もよろしくお願ひします。
大和RC 山本会員 2カ月ぶりに伺いました。
上田会員 (国際奉仕委員会) 皆様のご協力により中国留学生の方々との送別会、楽しく過すことが出来ました。また、会に華をそえて頂きましたご家族の方々のご出席に対し感謝いたします。ご協力有難うございます。
鈴木会員 先週、社員の結婚式のため欠席しました。また家族会には皆様の御協力により盛大に出来ました事感謝いたします。
伊藤 (英) 会員 誕生日のお祝ひ有難うございました。お陰様で家族全員健康で迎える事が出来この上ない喜びです。今後も体に気を付けて、酒? ゴルフ? に頑張っけてゆきたいと思ひます。これからも宜しく。
竹本会員 誕生日のお祝ひ有難うございます。
細野会員 女房の誕生祝ひ有難うございます。
芦田会員 創業記念日を祝っていただき有難うございます。今後も元気で頑張っけて行きます。
山中会員 創業記念のお祝ひを頂き有難うございます。今後ともよろしくお願ひします。
石渡会員 還歴祝ひを有難うございます。戦前ニューギニア戦々に於て生き残っけております。あれから35年が夢の様で感無量です。
伊藤 (宣) 会員 例会を二度欠席してしまいました。息子の大学受験で忙しくて、お陰様にて長男も北里大学医学部に入学出来ました。
土屋会員 上田国際委員長殿 先日は大変楽しいひとときを過させていただき有難うございました。留学生も一生の記念と大変喜んでおりました。どうも有難うございました。

先週の出来事

中国留学生送別の夕べが3月7日(土)「八代亜紀コンサート」と「アルテ・リーベ」での夕食会が、国際奉仕委員会の企画で行われました。夕闇せまる6.30p.m.県民ホールに集合。「八代亜紀コンサート」は、日頃歌い馴れた我が中クラブの面々にとっても、レコードなどで聞くのとは大違ひでその実演はきれいでその迫力に圧倒されました。雨の暮情は勿論、流れ出るヒット曲の数々に、留学生諸君もそのすばらしい舞台を堪能したことと思ひます。8時40分頃舞台はねて、アルテ・リーベまではそぞろ歩き、続ひての夕食会はおいしいビールとワイン、それにドイツ料理を味わいながら、奏でられるジプシーバイオリン (ちょっと調子のくるった?) ピアノ、コントラバスのトリオの演奏にムードもたかまり、懐しの、想ひ出のメロディに、アルコールのせいもあって、全員で踊ったり、歌ったりで、閉店の時間ギリギリ11時まで、タップリ楽しみました。中国留学生の諸君にとっても忘れられない想ひ出として残ることでしょう。御世話下さった当日の名幹事、あの傑作のダンスとともに上田国際奉仕委員長さん本当に有難うございました。

お知らせ!

先日のクラブ奉仕活動のフォーラムでご提案のありましたいろいろな親睦活動の中で、話しのありました医師会のレコードコンサートが3月25日(水)7.30p.m.より、ご存知の医療センターのホールで行われます。時間がおありで、お好きな方はどうぞおいで下さい。お誘ひ致します。11時頃までやっていますので都合のよい時間にお出掛け下さい。若し聞かせたくなるようなレコードがありましたらご持参下さい。曲目はどんなものでも自由です。お気軽にどうぞ! (有沢)